

市長と対談

# 国際化の中の佐世保

昨年度の留学生の数は415人を数えるなど、市内在住の外国人の数は年々増加しています。国際化が進む中で、外国人とどのように付き合っていけばよいのか、また、外国人は佐世保市に何を望んでいるのか、市長と留学生などの若い外国人4人に語り合っていました。



光武頭市長

### 佐世保の印象

**市長** 皆さんは佐世保についてどのような印象をお持ちですか。

**ピエール** 佐世保は大好きです。日本もベルギーも豊かな国で、生活や人間性はあまり変わらないと思いますが、日本の社会では形式が重要視されているように感じています。

**河芝英** 来日前、観光で東京を訪れたとき、「乗り換え」という一言だけを覚えていて、たまたま通勤途中の通りすがりの人に行き先を聞いたら、親切に乗り換え場所まで案内してくれました。その時、この国なら安心して暮らすことができると思いました。佐世保では、近所の人たちもとても優しく、佐世保に来てよかったと思っています。

韓国の年配者の中には、戦前の日

本統治時代のことを思い、あまりいい感情を持っていない人もいますが、一度来たら、親切な所、住みやすい所だと分かると思います。

**除漚** 佐世保の人は親切で、これからも住みたい所です。私の場合、日本人の保証人が、学費から生活面まで援助してくれています。その人は見返りを求めず、「将来立派な人になって、日中友好の架け橋になってください」と言ってくれます。佐世保は、ごみリサイクルなどの環境面をはじめ、医療制度や介護保険など福祉面が充実しており、観光産業が進んでいます。

**アロン** 現在、小・中学校で英語を教えています。佐世保の子供たちは元気がよくて、無邪気です。

## 国民性と文化の違い

**市長** 日本は、明治維新以降近代化されていく過程で、常に西洋と比較しながらやってきました。また、同じ東洋の国でも、韓国や中国とも少し違う。河さんは日本人に対してどのように感じていますか。

**河芝英** 時々自分の意見をはっきり言わず、態度が曖昧だと感じる点があります。

**除漚** 日本人は周りの人によく気を遣っているように感じます。

**ピエール** ベルギーでは、独立心を大事にします。子どもが成長したら、両親は、あなたの人生はあなたのものだから好きなように生きてくださいと言います。

**市長** 東洋と西洋のこの差は大変大きいと思いますが、東洋には儒教の影響があると思います。大人になつてどうかということをして、中国や韓国では、家族が生活の中心という考え方で、家族や親戚の間の義理を大事にします。日本は、中国、韓国と西洋の間ぐらいです。

皆さんが日本人がどうも分からないというのはいくつかあることではないでしょうか。聖徳太子のころ（6〜7世紀）、日本は、中国や朝鮮半島から儒教や仏教などいろいろな文化を取り入れました。その一番の根本にあるのは、「和をもって貴しとなす」という和の精神です。日本人は自分の

意見がある程度までは言いますが、最後はできるだけ相手の意見に合わせようとする傾向があるようです。

**ピエール** ベルギーでは、外から来る人をあまり差別しません。ベルギー地方は、いつもドイツとオランダや、フランスとイギリスなどの戦争に巻き込まれてきたため、平和に共存することを目的に建国されました。ベルギーはヨーロッパの真ん中に位置し、人の往来も多く、何でも受け入れます。ベルギー人は「あなたはどこから来ましたか」と尋ねられると、「ベルギーから」とは答えず、「ヨーロッパから」とか、「地球から」と答える人が多いんです。

**市長** 国民性は、国の成り立ちによっても違ってきますね。日本には島国独特のものがあり、日本人にしか分からないことも多いです。韓国の人はどうですか。

**河芝英** 韓国は半島で、歴史的に異民族の侵略を受けることも多く、南北問題も抱えており、できるだけ自分たちだけでやり、外に向けて開かないという傾向があります。

**市長** カナダは、国全体の雰囲気非常にゆったりとして、穏やかなように感じますが。  
**アロン** そうですね。国土が広く自然も豊かで、いろいろな国から来た人々が共存しています。



アロン・フラデットさん (27歳)

カナダ・オタワ市出身。カールトン大学で心理学とコンピューター科学を学ぶ。障害者用設備の設計も行う。昨年7月に来日し、現在、ALT(外国語指導助手)として市内の小・中学校で英語を教えている。



徐漚さん (25歳)  
中国江蘇省南通市出身

5年前に来日し、高校に1年間通った後、長崎県立大学経済学部流通学科に入学。現在4年生。日中交流に関心を持つ。現在、中央公民館で中国語を教えている。夫は長崎県立大学の大学院に在学。



河芝英さん (32歳)  
韓国ソウル市出身

10年間パートで勤務した後来日し、東京の語学学校で1年間日本語を学ぶ。現在、長崎国際大学人間社会学部国際観光学科3年生。観光の歴史に関心を持つ。現在、南地区公民館で韓国語を教えている。



ピエール・ボネールスさん (24歳)

ベルギー・ブリュッセル市出身。イギリスの大学で英語を学んだ後、2年半前に長崎短期大学英語科に入学。ことし3月同大学を卒業後、長崎国際大学に交換留学生として入学。哲学や物理学に関心を持つ。